



# とつか 2021年3月会報 第317号

- 2020 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
- スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let’s enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let’s help and share each other.”
- 2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進

(甲府の大会は

リモート方式に…)



### 会員ひと言

### ☆書写☆

土方 喜美代

### ◎今月の聖句◎



緊急事態宣言が延長されて、外出もままならず身動きの取れない憂鬱な毎日を送っております。皆さんお元気にお過ごしでしょうか…？ 一日も早く例会が開かれ、親しくお話しが出来ます様に祈っております。

私が通っている教会も、礼拝を縮小し、それでも毎週祈りの時を持っています。

十分な時間がある中で、皆で聖書を書写しようという提案があり、漢字練習帳を用意し、早速、始めることになりました。旧約聖書の「コレトの言葉」をしっかりと読みたいたいの思いで書き上げました…。「コレトの言葉」を読むと、「空しさ」「風を追うようなこと」が全編を貫いている不思議な箇所です。また3章では、「時の詩」があり、神の時が記されています。旧約の時代に書かれたものが、現代の私たちにも考えさせられる文で、驚かされながら書き上げました。

「明日が見えなくても、今日を生きよ。この時を生きよ。涙を拭いて前に進め、明日に向かって種を蒔け、…」と、コレトは呼び掛けているのだそうです。

外出することが少なくなっている今、この書写の時間が与えられたことに感謝しつつ、毎日を送っています。

一日も早く普通の生活に戻るのを楽しみに待っています。

人にへつらおうとして、うべだけで仕えるのではなく、キリストの奴隷として、心から神の御心を行い、人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。

—エフェソの信徒への手紙6章6～7節—

人はみな平等、人々は心から交わり、そして間違いない正義に満ちた交わりが大切だと説かれます。

‘みなのが一つとなってワイズの絆をより固く結び、ともども YMCA 運動に仕えることを願うものです。’

ワイズ100年を目前に控え、改めて私たちの決意を…。

### 強調月間 BF・ワイズメネット

BF/Brotherhood Fund、BF 資金を活用して国内外のワイズの代表が外国を訪問するのに充てる資金、一名、兄弟愛基金ともいう。以前は、使用済み切手を収集整理・換金していたが、市場性が減ったことから現金拠出が主流となった。加藤ワイズは、1979年にこの資金を活用して北米訪問をされた。次にワイズメネット、Y's Menettes、男性会員の女性パートナーの意味、メンの働きに協働し、また独自に活動する。以前はクラブごとにメネットクラブがあったが近年は少なくなり、とつかメネットクラブは貴重な存在です。

会員数	2月出席者数	出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メ	12	メ	他	(円)		(g)					
ネット	8	メネット	前月迄		0		0	0	0	0	0
		ゲストら	当 月		0		0	50,000	0	0	0
計	20	合 計	累 計		0		0	50,000	0	0	0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

続・新春随想

☆三大盆踊り…☆

会長 若木 一美

皆さん、日本の三大盆踊り、ご存知でしょうか？炭坑節・東京音頭・よさこい踊り…??ではないのです。

秋田県羽後町に伝わる「西馬音内(にしもない)の盆踊り」(写真左)・岐阜県郡上市に伝わる「郡上(ぐじょう)おどり」(写真中)・徳島県「阿波(あわ)おどり」(写真右)、この3つが「日本三大盆踊り」と称されているのです…！何れも起源や発祥については不明確ですが、中世の「念仏踊り」や「風流踊り」の流れで誕生したのではないかと、言われております。

先ず、私たちに馴染みの阿波踊り、天正14年(1586年)阿波の国・徳島城竣工の際に完成祝いとして自由に踊らせたのが発祥という説もありますが、実の処起源は不明です。徳島県では、学校の授業にこの踊りを採り入れている処もあり、また東京の高円寺や神奈川県の大和市などでも踊られる等、全国的に広がっています。踊りのグループを「連」と呼び、全国に連があり、お盆の期間中の風物詩として、今や、全国的にシッカリ定着しました。

次は郡上踊り、江戸時代に郡上藩主により奨励されたとされるが、発祥にはいくつかの説があり、明確な起源は不明です。文献によると、神社の拝殿で氏子たちが夜明かして踊ったという記述があり、それ以前から徹夜で行われていたようです。現在も盂蘭盆会(うらぼんえ・日蓮が、

餓鬼となった亡母を救う仏事)の期間中、徹夜で行われ、「かわさき」「春駒」「ヤッチク」等数曲があります。私の知り合いは、今でもバスを仕立て徹夜で踊りに行っています。

そして終わりは、西馬音内の盆踊り、重要無形民俗文化財に指定されていますが、ご存知ない方が多いと思います。正応年間(1288~93年)、源親という修行僧が蔵王権現(現在の西馬音内御嶽神社)の境内で豊年祈願として踊った…という説がありますが、これまた正確性は不明です。踊り手は黒い覆面を被り(「ひこさ頭巾」と言います。)、亡者を連想させ、西馬音内盆踊り特有の美しい衣裳の幻想的な踊りです。(越中八尾の「風の盆」に似た感じです。)

この雰囲気異なる3つの踊りが例年8月13日から16日にかけて開催されています。COVID-19が退散した暁には、是非、現地を訪れ、日本の伝統芸能の雰囲気を味わってみたいと思います。



続・新春随想

☆森喜朗会長の辞任に思う☆

湘南とつかYMCA館長 山中 奈子



東京オリ・パラ大会組織委員会長の森喜朗さんの「女性蔑視発言」が今話題を呼んでいます。私も一応「女性」なので、この会見には非常に興味を持ちました。私を感じた違和感は、ワイドショーなどで話題になっている「女性がたくさん入っている理事会は時間が掛かります…」の部分ではありません。

『私どもの組織委員会にも、女性は(中略)7人ぐらいおられますが(中略)みんな競技団体からのご出身で国際的に大きな場所を踏んでおられる方々ばかりです。ですからお話もきちんとした的を射て、(中略)非常にわれわれに役立っていますが、欠員があるとすぐ女性を選ぼうということになるわけです…。』森さんはこのようにもおっしゃっています。文部科学省から、女性役員を4割にしてください…と提言されているとのこと。今までの歴史の中で、「女性だから…」ということによって排除されてしまっていた現実があったと思います。しかし、今は能力で選ばれるのではなく、「女性だから」選ばれるということは、逆に均等ではないと思います。

社会的な性差を示すジェンダーギャップ指数で日本の順位は下がり続け、2020年の数字でも153か国中121位と世界の最底辺に沈んだままです。これは「女性に

チャンスを」と言っている時点で、ギャップを感じます。

女性は決して特別に役職や権力を認めてほしい訳ではなく、ひとりの人間としての能力を認めてもらいたいのだと思います。皆さん、そう思われませんか…。

この原稿を書いている間にも、森会長の後任人事を決める会合が開かれているとテレビが報じています。そこにも8人のうち女性が二分の一を占めた…とのニュースが流れました。もしかして、「…8人が選ばれた…」といったような報道にならないだろうか…と、フト思った次第です。

以上、最近、気になっていることを書かせていただきましたが、何はともあれ、横浜とつかワイズメンズクラブは湘南とつかYMCAには無くてはならない存在です。これからもお世話になりますが、何分宜しく願い申し上げます。





【特別寄稿】

☆2021 - 22 年度主題について☆



次期理事 大久保 知宏 (宇都宮クラブ)

次期理事を務めます宇都宮クラブの大久保です。1月末から次期の準備を次期キャビネットの皆さんと始めています。そこで検討している理事主題とスローガンをお伝えします。

主題を、「私たちは次の世代のために何ができるか?」  
“Think for the next generation.”とし、スローガンを「絆を深める時」  
“We are stronger together than we are alone.”としました。

2021-22年度はワイズメンズクラブが生まれて100年の節目の年です。同時に次の100年の始まる年となります。次の世代を育て、何を伝えていくのかを考える年とすべきと思います。コロナの影響を受ける年になることが予想されますが、それに対応した制度を作っていく年度にしていかなければなりません。現在、東日本区では、貴クラブの若木様や加藤様にもご尽力いただいている検討委員会で区の一般社団法人化を準備しています。役員会・代議員会での審議を経て、本年6月の設立を目指しています。法人となることにはデメリットもありますが、法的な地位を得ることは、より強い組織となる手段と考えます。法人化は、各クラブの活動に変化を与えることはありませんが、クラブが、法人化された東日本区を活用することで、自身が強いクラブに変化することは可能と考えています。

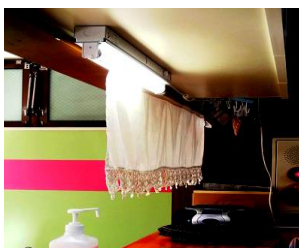
次世代のために組織に不可欠なことは、会員の一体感であると思います。コロナウィルスは個人の身体的な脅威であると同時に、組織の弱体化を惹き起こしています。組織の弱体化を止めるためには会員の絆を深めることが最重要と考え、スローガンとしました。コロナ対策は人と人との物理的な距離を求めます。東日本区で運用を始めた Zoom、区の会議を中心に使われ始めましたが、今ではクラブの例会にも使用されています。Zoom 例会に参加されて物足りないと感じる方も多いと思います。しかし、そこにも繋がりを感ずることはできるはずで、Zoom での例会の持ち方や例会の回数の見直しなどで、絆を深める努力が求められています。

来期もワイズメンズクラブで繋がりを感ずられる楽しい1年にしたいと考えています。ご協力をお願いします。

(大久保様、お忙しい中 貴重なご寄稿を賜り有り難うございました。)

レザン通信

横浜 YMCA ワークサポートセンターレザン 相馬 良文



皆さん、こんにちは…  
レザンのキッチンカウンターは吊り棚のため、作業をする手元が暗くなっていました。照明器具に詳しい通所者の方々と相談し、照明を設置しました。計画の開始から完成まで1年近く掛かりました。一番のポイントは灯の取付けで、器具選びから配線、そして設置工事と、皆さ

☆YMCA 山手台センターのイマ・ムカシ☆

山手台センター館長 添谷 憲一



山手台センターは、1991年に開設され、今年で30周年を迎えます。

今回、とつかクラブの加藤さんからの執筆依頼を受け、よい機会と考え同センターの歴史等を振り返りつつ、ご紹介させていただきたく思います。

1987年に相模鉄道(相鉄)から西田・領家地区にYMCAを誘致したいという話が持ち上がった。相鉄は横浜駅から海老名駅までを本線とした鉄道部門があり、1981年にも南万騎が原駅脇に建物を賃借する形で西YMCAを開設した経緯があります。山手台のケースも同様に相鉄いずみの線沿線の住宅地にYMCAも設計段階から参加し、造り上げていく方法で準備が進められた。この山手台地域の計画人口は1~2万人であったが、三井不動産と相鉄の共同で住宅開発が進められ、時価1億円以上の高級住宅と中層マンションが建てられることとなり、公共施設、学校、地区センター、病院、老人ホーム、カルチャー施設等の建設が予定され、当初からYMCAもカルチャー施設という理解で、建設打合せに入っていた。それまでYMCAといえば「駅近か」の活動が中心とされていたが、山手台は駅からの距離もあり、当時の既存事業である進学や語学等にはデメリットがあることから、新しい試みとしてチャイルドケアを実施し、働く女性をサポートしていくプログラムを採り入れることとした。1991年の開設時は、水泳を中心にスポーツ・プログラムとチャイルドケア・プログラムの長時間保育、入園前のプレスクール、託児プログラム等、更に進学(塾)と語学を運営の柱とした。現在は、時代の変遷に応じ、プログラムも認可保育園、水泳、学童保育の3本柱での運営と変化している。



今、世界は大きな時代的潮流の中で新しい社会の形成に向かいつつあります。山手台センターも、新しい時代の変化に合ったプログラムの展開を行い、地域にあるYMCAとして、その灯を絶やすことのないよう図っていきたく考えております。

日ごろお世話になっております横浜とつかワイズメンズクラブの皆様、どうぞこれからも宜しく願い申し上げますと共に、付近をお通りの節は是非お立ち寄りいただければ…と願っております。



YMCA だより

☆横浜 YMCA 留学生支援～食品寄附のお願い～☆

「横浜 YMCA で頑張る YMCA 留学生たちの未来のために」

クラブ担当主事 瀬戸 俊孝

2019年に中国・武漢市で発生したCovid-19の影響で世界中が大きな影響を受け、経済活動に止まらずすべての社会活動が制限のある行動を強いられています。

YMCAでは、困難な状況にある留学生たちに寄り添い世界を見つめ地域に生きる青少年を育成する活動として留学生食糧支援を始めました。学生の多くは、コロナ禍によりアルバイトが出来なくなったり、仕送りが止まったりで苦境に立たされています。

生活に困窮する留学生のために、食品を寄付・配分し、彼らが将来への希望を諦めることがないように、教育の機会が均等にあるように皆で支えていきたいという願いの下、多くの寄付を頂きました。とつかクラブからも先日、食品の寄贈があり、学生に届けたという報告が写真と共にありました(別掲)。この活動は今月末まで続けます。引き続きご協力をお願いします。

YMCAは、すべてのいのちと一人ひとりの生きる権利が守られる社会の実現を目指し、これからも活動します。



☆今月の歳時記から☆

「雛祭 ひなまつり」と「土筆 つくし」

「雛祭」、3月3日の桃の節句に行く。ひな壇を作って、雛人形を飾り、ひし餅、白酒、桃の花などを供える。古くは源氏物語にも出ている。江戸時代に盛んになる。娘の友達を呼んで、雛壇の前で楽しく過ごすのは、親には何とも喜ばしいものであろう。

草の戸も住替る代ぞ雛の家	芭蕉
立雛の面輪匂ひて眉目あり	秋桜子
雛壇やかしづくごとく夫婦住む	温亭

次に「土筆」、いたる所に自生する杉菜(すぎな)の胞子茎。早春、地上に茎を出す。日当たりのよい堤や路傍に多く生じる。摘んで、飯に炊き込んだり、つくだ煮にしたりする。ほろにがくて風味が高い。別に、つくしんぼ、つくづくし、筆の花ともいう。

つくづくしほうけては日の影ぼうし	召波
土筆野やよろこぶ母につみあます	かな女
土筆物言はずすん～とのびたり	漱石



☆3月・4月のこよみ☆

- 3/5(金) BAPY チャリティーゴルフ大会・戸塚カントリー
- 3/6(土) 第1例会:～中止～
- 3/16(火) 第2例会:～検討中～
- 3/22(月) 第6回湘南とつかYMCA運営委員会:18:30
- 3/26(金) 横浜つづきクラブ例会:吉原会員の卓話
- 4/10(土)? 第1例会‘竹の子例会’:詳細は追って
- 4/20(火) 第2例会:湘南とつかYMCA205号室・18:30



【掲示板】

会長

◎3月・4月の会合について

- ア 取りあえず、3月6日(土)第1例会は中止します。
- イ 3月16日(火)の第2例会は、今の時点(2/25)では開催の予定です。ただし、状況が変わりましたら、直ちにご連絡申し上げます。
- ウ 4月は、恒例‘竹の子例会’、アルジと相談の上、開催の可否・日時等が決まり次第お知らせします。お問い合わせ等は、担当主事又は書記まで…。

◎東日本大震災から10年が…

- ア 今から10年前の2011年3月11日に東日本大震災、そのひと月前の2月11日の会員研修会に大江浩さんを迎え、1995年1月に起こった阪神・淡路大震災の彼の体験を主とした話を聞いたばかりでした。
- イ 時の流れの速さと共に、忘れぬうちにやって来る災害の恐ろしさに、思わず息を呑む昨今です…。

◎テレビの「アンビリバボー」から:この項、加藤さん

いつもブリテンにご登場頂いている木村利人先生が2月18日午後8時からのテレビに出演され、その時の1枚です(左端・立ち姿)。当時、先生が作詞された‘幸せなら手をたたこう…’のモト歌が唄われ始めた頃、早稲田の大学院生で、ボラ



ンティアで現地に…。‘Pangasinan Branch YMCA’のフラッグも写っています…。Pangasinanはフィリピンのルソン島中部・マニラの北方200キロ・南シナ海に面した町です。‘ほら みんなでカタたたこう…’、この歌で、憎悪一転、彼らと心から融け合うことができました…。と…。

〈後記〉

コロナ禍の中、ハナの便りもチラホラ…。

～ Change! 2022 ～

(T/K)